

2012年7月11日



NEWS RELEASE

株式会社 **サッポロライオン**

〒104-8536 東京都中央区八丁堀 4-3-3 Daiwa京橋ビル

12024

創業祭「8月4日はビヤホールの日。」 ライオンチェーン全店で生ビール全品半額セール！！ ～昨年は全国で37,000名のお客さまが小グラス86,800杯分を飲み干した～



株式会社サッポロライオン（本社・東京、社長・刀根義明）は、当社の創業日である8月4日（土）に、日頃ご愛顧いただいているお客様へ感謝の気持ちを込め、創業祭「8月4日はビヤホールの日。」イベントを実施します。

記

<イベント内容>

1) 8月4日（土）「ビヤホールの日」当日は全店生ビール全品半額

「ビヤホールの日」当日は、毎年たくさんのお客様よりご好評いただき恒例となった「サッポロ黒ラベル」「エビス樽生」など取扱のある生ビール全品当日限りの半額セールイベントを、全国のライオンチェーン約150店舗（ビヤガーデンなど一部店舗を除く）において実施いたします。特に当社の旗艦店舗である「ビヤホールライオン銀座七丁目店」には、生ビールを求めていらっしゃるお客様で行列ができ、例年3時間待ちのお客様がいらっしゃるほどの盛況ぶりです。また昨年の8月4日は、全国で約37,000名のお客様に、生ビール37,300リットル（小グラス86,800杯分）を飲んでいただきました。

※「飲み放題コース」をご利用のお客様は半額対象外です。別途「500円割引券＋ドリンク券」セットをプレゼントします。

2) 7月30日（月）～限定オリジナルジョッキ付きビール販売

「ビヤホールの日」を記念して、オリジナルジョッキを作成しました。7月30日（月）より、お土産としてお持ち帰りいただける「限定オリジナルジョッキ」付き生ビール（435ml、1,380円）を、全国の「銀座ライオン」、和食居酒屋「安具楽」「安曇野庵」にて販売します。

※各店舗なくなり次第終了



「ビヤホールの日」限定オリジナルジョッキ⇒

（裏面もご覧下さい）

3) 8月3日(金)「ビヤホールの日」前夜はスクラッチくじキャンペーン

「ビヤホールの日」前夜祭として、3日(金) 17時以降ご来店のお客様に、抽選でその場で料理やドリンクをプレゼントする「スクラッチくじキャンペーン」を、全国のライオンチェーン約130店舗(ビヤガーデン、ダブリナーズ、一部和食業態などを除く)において実施します。

※ご宴会コースご利用のお客様は、スクラッチくじ対象外です。別途「500円割引券+ドリンク券」セットを全員にプレゼントします。

4) 8月5日(日)～8月10日(金)「2012 ビヤウィーク」

期間中17時以降にお会計のお客様に、当日のご飲食代の20%をクーポンバックする「2012 ビヤウィーク」を、全国のライオンチェーン約150店舗(ビヤガーデンなど一部店舗を除く)において実施します。

※期間中のご宴会コースのお客様は、20%クーポンバック対象外です。別途「500円割引券+ドリンク券」セットを全員にプレゼントします。

「ビヤホールの日」って何？

1. 1899(明治32年)8月4日 日本初のビヤホールが誕生：モダンな造りで大盛況

日本初のビヤホール「恵比寿ビヤホール」は、銀座の新橋際(京橋区南金六町五番地 現銀座八丁目)にオープンしました。

規模は35坪、入口から向かって左側にカウンターを設け、床はリノリウム張り、イスやテーブルはビールの樽材でつくられ、また酒器はガラス製のジョッキで、当時としては極めてモダンな店でした。設計は工学博士である建築家の妻木頼黄氏に依頼し、奇抜な設計にしてもらった、と記録が残っています。

このビヤホールは、2階建ての煉瓦造りの建物の2階を間借りして開店したにも関わらず、当時有名だった小林習古画伯の壁画を飾るなどとても豪華な造りをした店舗だったため非常に繁盛しました。1日の来客数は平均800人に達しました。遠方から馬車でやってくる人もいたそうです。

なお、当時はビール500mlが10銭で販売されていました。当時は、もりそば1枚、コーヒー1杯が1～2銭、食パンが5～6銭程度でした。

「恵比寿ビヤホール」日露戦争戦勝記念風景⇒



2. 日本初=世界初のビヤホール? 「ビヤホール」は和製英語

「恵比寿ビヤホール」が実は世界初のビヤホールだという説があります。

ドイツでは中世の頃に醸造所が居酒屋を兼ねはじめ、その一角でビールを飲めるようになっていたようですが、この一角が広間ならビア・ハレ“Bier Halle”と呼ばれました。このビア・ハレを英語に直訳すれば“beer hall”ですから、ドイツには中世からビヤホールがあった、と言っても問題ないように思われます。しかし実は、ドイツ語としての“Bier Halle”は存在するのですが、英語としての“beer hall”は存在していないのです。

ですので、この「ビヤホール」という和製英語を作ったのが馬越恭平、世界で最初にビヤホールを名乗ったのが「恵比寿ビヤホール」だったとも捉えられます。

「恵比寿ビヤホール」が大変繁盛したことから、開店の翌年には「ラムホール(砂糖水)」や「ミルクホール」などが現れるほど「ホール」という言葉が一般化していったそうです。

3. 「8月4日はビヤホールの日。」

(株)サッポロライオンが創業100周年の1999年に、「日本に初めてビヤホールが誕生した記念日」として制定しました。また8月4日は、サッポロライオンの創業日でもあります。

以上

この件に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

報道関係の方	経営戦略部(西村 礼佳) TEL: 03-6222-5183 / E-mail: kouhou@sapporo-lion.co.jp
一般の方	お客様相談センター TEL: 0120-848-136